

<静岡県 子どもが文化と出会う機会創出事業>

親子、ときどき同級生。

「すばっくおやこ小学校」6月より開校!

浜松開催ではSPAC×浜松科学館が初タッグ

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACでは、小学生とその保護者を対象としたアートプロジェクト「すばっくおやこ小学校」を、2022年に引き続き、2023年も静岡市・浜松市・沼津市で開催いたします。本事業は、小学生とその親が<同級生>となり一緒に学び合うアートプロジェクトで、SPAC俳優や地域の専門家が各回の講師を務め、親子での共同作業や対話中心の授業を行います。今年の静岡開催には、216組のご応募をいただき、他会場も順次募集・実施いたします。(詳細は裏面をご覧ください。)

7月開催の浜松会場では新たな取り組みとして、浜松科学館とコラボレーションが実現。SPACで活躍する舞台音楽家と科学館のエducatorが、館内の「音ゾーン」の展示を使用しながら、音の仕組みについて知り、自分だけのオリジナル楽器を作ってみます。アートとサイエンスを融合させたスペシャルな回となっています。こちらにぜひご注目ください。

ご取材などご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

実施日程・講師

<in 静岡> 6月3日(土)・4日(日) / 12日(土)・13日(日)
19日(土)・20日(日)

会場: 静岡芸術劇場 2F ホワイエ

担任: YORIKO [全3回]

1限目【算数】: 増井由美子 (駄菓子屋Peco店主)

2限目【国語+体育】: 三島景太 (SPAC俳優)

3限目【図工】: YORIKO

<in 浜松> 7月1日(土)・2日(日) / 8日(土)・9日(日)

会場: 浜松科学館

担任: 春日井一平 (SPAC俳優) [全2回]

1限目【国語+体育】: 山崎皓司 (SPAC俳優)

2限目【音楽】: 棚川寛子 (舞台音楽家)、上野元嗣 (浜松科学館チーフエドyueクター)

<in 沼津> 7月15日(土)・16日(日) / 22日(土)・23日(日)

会場: 沼津市民文化センター 展示室

担任: 春日井一平 (SPAC俳優) [全2回]

1限目【図工+社会】: 菊地悠子 (建築家)

2限目【国語+体育】: 舘野百代 (SPAC俳優)



*各会場とも 午前[10-12時]=1-2年生クラス・午後[14-16時]=3-6年生クラス

参加料=無料

対象: 小学 1~6年生とその保護者(親族であれば親以外可)

参加人数: 各クラス 親子 9組程度

参加条件: 静岡は2回以上参加できる方。浜松・沼津は2回連続参加できる方。

【参加申込受付期間】

静岡<募集終了>=4月25日(火)~5月7日(日) / 参加人数: 親子 37組 80名

浜松<募集中>=5月19日(金)~5月29日(月) / 募集人数: 親子 36組

沼津=6月2日(金)~6月11日(日) / 募集人数: 親子 36組

おやこ小学校とは・・・

「おやこ小学校」とは小学生とその親が<同級生>となり一緒に学び合うアートプロジェクトです。

コミュニケーションデザイナーの YORIKO 氏が 2016 年に香川県高松市で立ち上げ、2019-2021年には東京都豊島区でも実施、2022年より静岡版として「すばっくおやこ小学校」をスタートしました。SPACでは、人材育成事業や教育現場へのアウトリーチ事業のノウハウを活かしながら、小学生及び子育て世代が芸術文化に触れる機会を広げることを目的に、演劇的な要素を持つ体験型のプロジェクトとして実施しています。

●親子間のコミュニケーションを育む

おやこ小学校で大切にしているのは、親子での対話。日常の<子>と<親>が同級生となり、「いつもと違う役割になる」ことで、お互いについて新しい発見をし、理解を深める時間を創ります。そこには、コミュニケーションや多様性を育む演劇の力も生かされます。

●地域人材とのコラボレーション

地域の駄菓子屋さんや建築家、SPACの俳優など、その専門家の方を講師に招き、国語、算数、社会・・・など、学校の教科に当てはめ、親子と一緒に考えたり、手を動かしたりする授業を行います。地域や劇団の人材を活かした授業となっています。

●教員を目指す学生との連携

各授業には、地域の大学生に「お助け隊」として参加者のフォローをお願いしています。教育学部に所属し、将来の教育現場を担っていく学生たちの力も借りて、「おやこ小学校」を運営しています。

★昨年の実績★

<参加人数>

[静岡]36組78名 [浜松]28組52名 [沼津]35組76名

計99組206名

<参加者の声>

「子どもと話をする機会が増え、内気な子どもが自分の気持ちを伝えてくれるようになった。」

「学校での様子を見ることができました。一緒に生徒なんておもしろかったです。一緒に考えて一緒に課題に取り組み、仲間(相談できる相手なんだなと気付きました)になれました。」

YORIKO

おやこ小学校担任(企画・デザイン)

株式会社ニューモア代表。
「多世代・多業種の協働」をテーマに全国各地で参加型のデザイン・アートプロジェクトに取り組む。2020年より障害福祉×デザインのチーム「想造楽工」を主宰。



公益財団法人静岡県舞台芸術センター
(Shizuoka Performing Arts Center: SPAC)

静岡県が設立した公立劇団として、静岡芸術劇場と静岡県舞台芸術公園を拠点に1997年より活動を開始しました。2007年、宮城聡が芸術総監督に就任し、国内外で舞台作品の創造上演するほかにも、教育機関としての公立劇場のあり方を重視し、乳幼児からシニアまで全世代に向けて事業を広げています。



主催: 静岡県

運営: SPAC-静岡県舞台芸術センター

協力: 株式会社ニューモア

[浜松] 共催: 浜松科学館

[沼津] 協力: 沼津市民文化センター

お問い合わせ: SPAC-静岡県舞台芸術センター

TEL: 054-203-5730 (静岡芸術劇場)

E-MAIL: oyako@spac.or.jp

事業担当: 坂本彩子・宮川絵理・佐藤美咲